

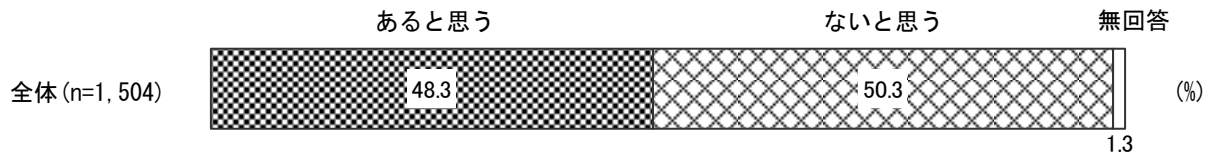
3 消費生活について

（１）消費者トラブルにあった際の「安心して相談できるところ」の有無

◇「あると思う」が約５割

問７ あなたは、消費者トラブルにあった時、市町村の窓口など「安心して相談できるところ」があると思いますか。（○は１つ）

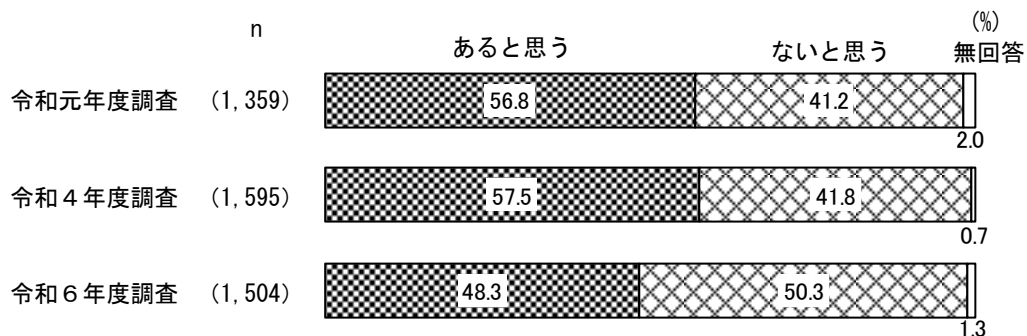
＜図表３－１＞消費者トラブルにあった際の「安心して相談できるところ」の有無



消費者トラブルにあった時、市町村の窓口など「安心して相談できるところ」があると思うか聞いたところ、「あると思う」（48.3％）が約５割となっている。

一方、「ないと思う」（50.3％）は５割となっている。（図表３－１）

〔参考〕令和元年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別で大きな傾向の違いはみられない。（図表３－２）

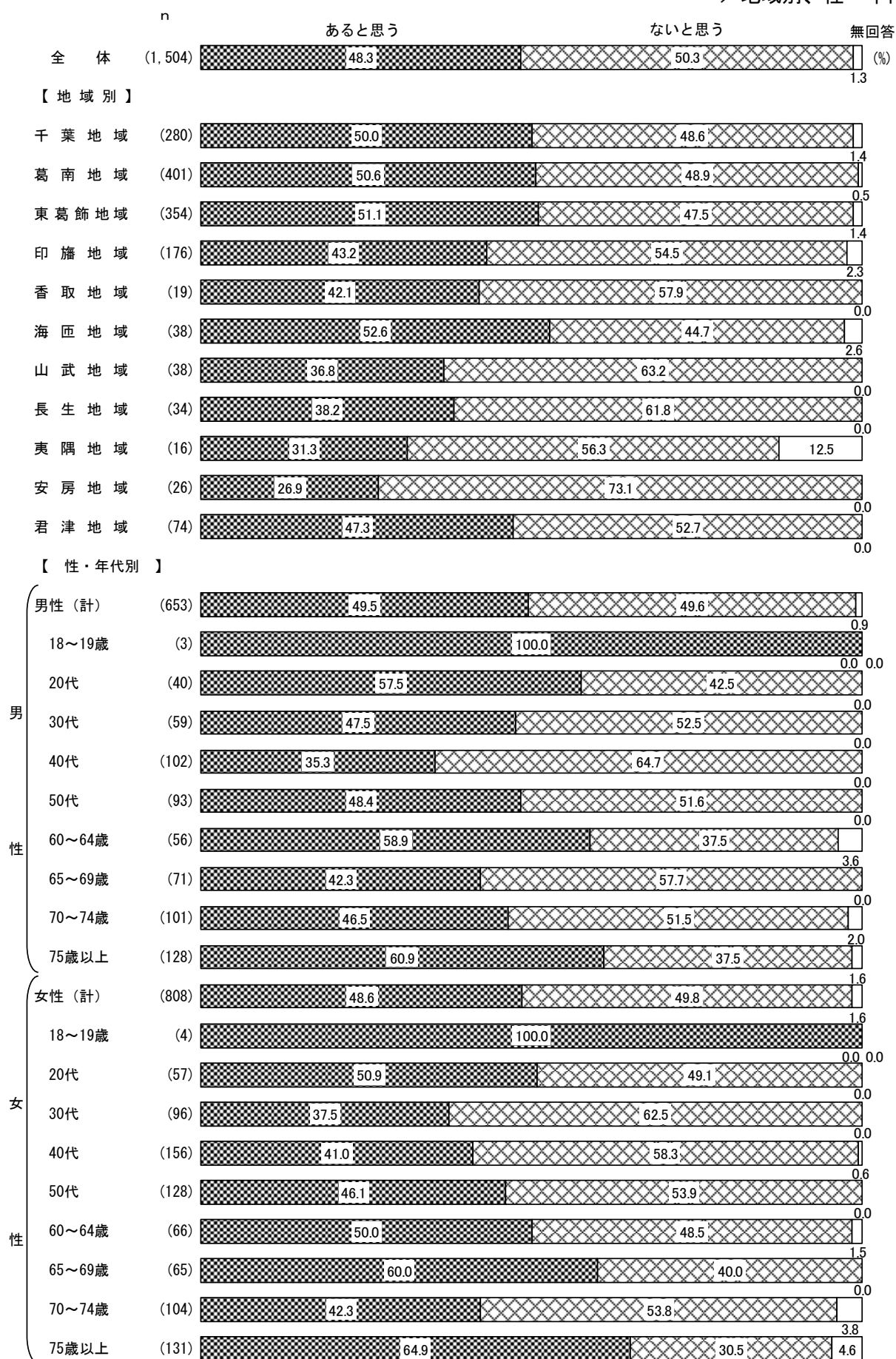
【性・年代別】

性・年代別にみると、「あると思う」は、女性75歳以上（64.9％）が６割台半ば、男性75歳以上（60.9％）が６割で高くなっている。

一方、「ないと思う」は、男性40代（64.7％）が６割台半ば、女性30代（62.5％）が６割を超え、女性40代（58.3％）が約６割で高くなっている。（図表３－２）

＜図表３－２＞消費者トラブルにあった際の「安心して相談できるところ」の有無

／地域別、性・年代別

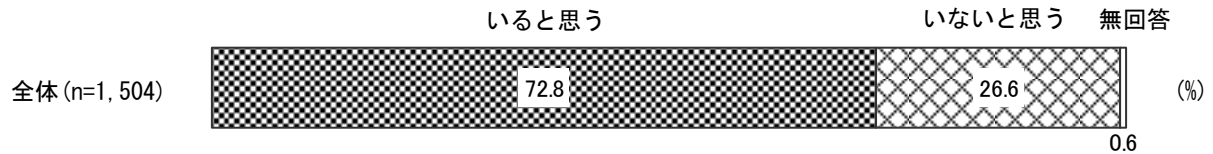


（２）消費者トラブルにあった際の「いつでも相談できる人」の有無

◇「いると思う」が7割を超える

問 8 あなたは、消費者トラブルにあった時、地域や身近なところで、家族や知人など「いつでも相談できる人」がいますか。（○は1つ）

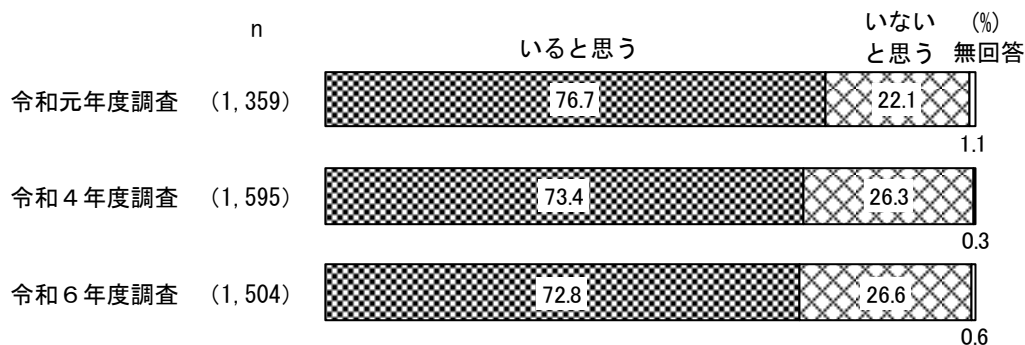
＜図表 3－3＞消費者トラブルにあった際の「いつでも相談できる人」の有無



消費者トラブルにあった時に、地域や身近なところで、家族や知人など「いつでも相談できる人」がいますか聞いたところ、「いると思う」（72.8%）が7割を超える。

一方、「いないと思う」（26.6%）は2割台半ばとなっている。（図表 3－3）

〔参考〕令和元年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

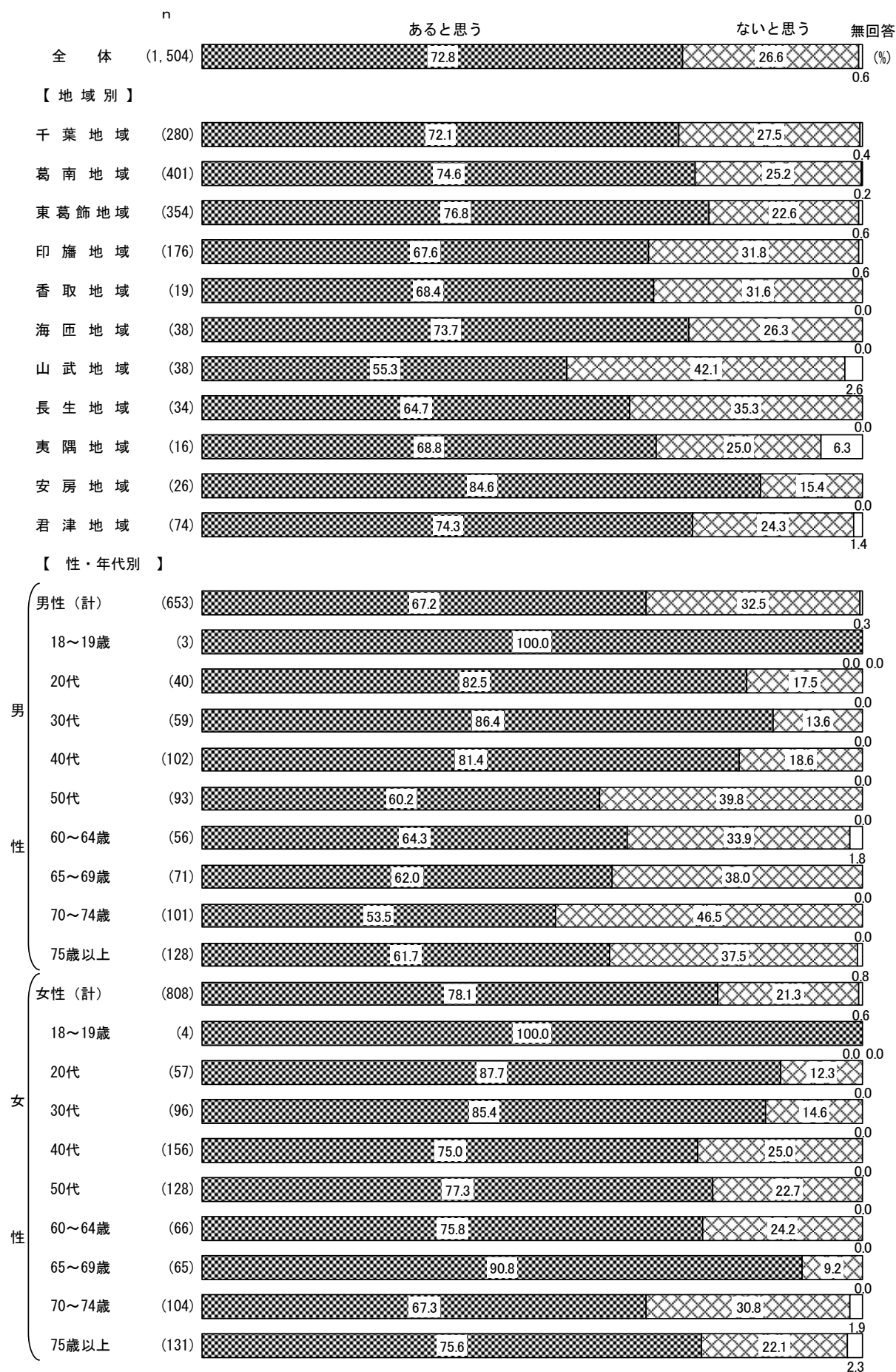
地域別にみると、「いないと思う」は、“山武地域”（42.1%）が4割を超えて高くなっている。

（図表 3－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「いると思う」は、女性65～69歳（90.8%）が9割、女性20代（87.7%）が約9割、男性30代（86.4%）、女性30代（85.4%）が8割台半ば、男性40代（81.4%）が8割を超えて高くなっている。（図表 3－4）

<図表3-4>消費者トラブルにあった際の「いつでも相談できる人」の有無／地域別、性・年代別



（３）悪質商法に対する考え

◇『増えてきた（計）』が約８割

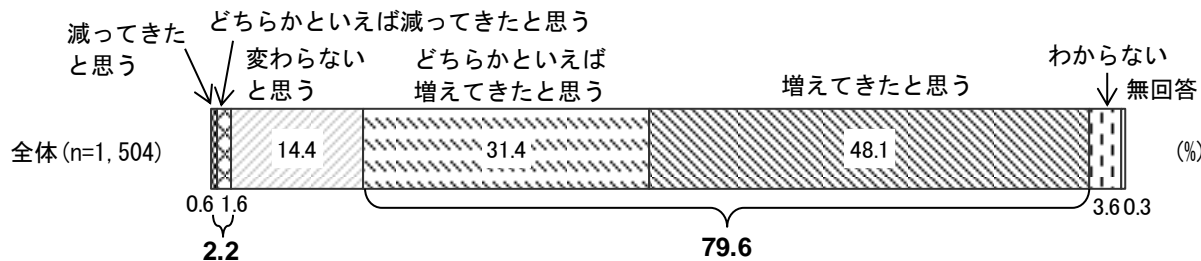
以下のような違法又は不当な手段・方法により行われる販売方法を「悪質商法」といいます。

（「悪質商法」の例）

- ・インターネット通販トラブル
 - ・・・健康食品や化粧品などの定期購入や身に覚えのない購入代金の請求 など
- ・点検商法・・・屋根や給湯器の無料点検を装い高額な工事の契約をさせられる など
- ・架空請求・・・大手通信事業者などを騙った未納料金の請求 など
- ・副業や投資に関するトラブル
 - ・・・インターネット広告やSNSなどで、簡単に収入が得られると誘いを受け、会員登録や商材を購入するが、実際は少しも儲からない など

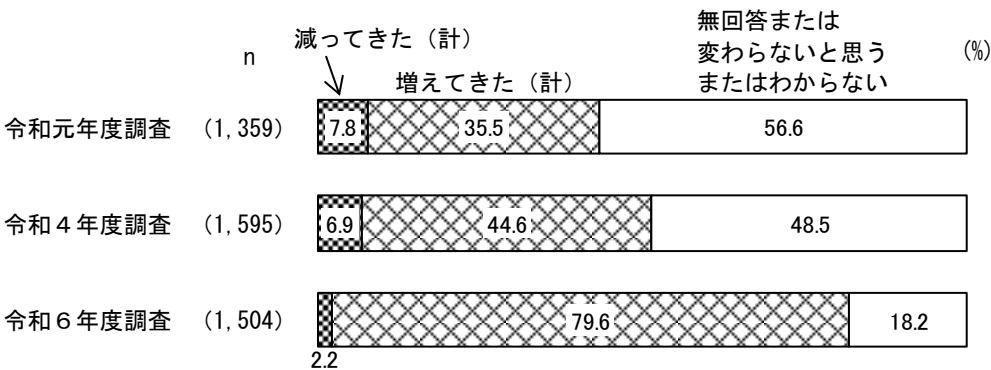
問 9 あなたは、上記のような悪質商法が減ってきたと思いますか。（○は１つ）

＜図表 3－5＞悪質商法に対する考え



点検商法や架空請求などの悪質商法が減ってきたと思うか聞いたところ、「どちらかといえば増えてきたと思う」(31.4%)と「増えてきたと思う」(48.1%)を合わせた『増えてきた（計）』(79.6%)が約８割となっている。（図表 3－5）

〔参考〕令和元年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

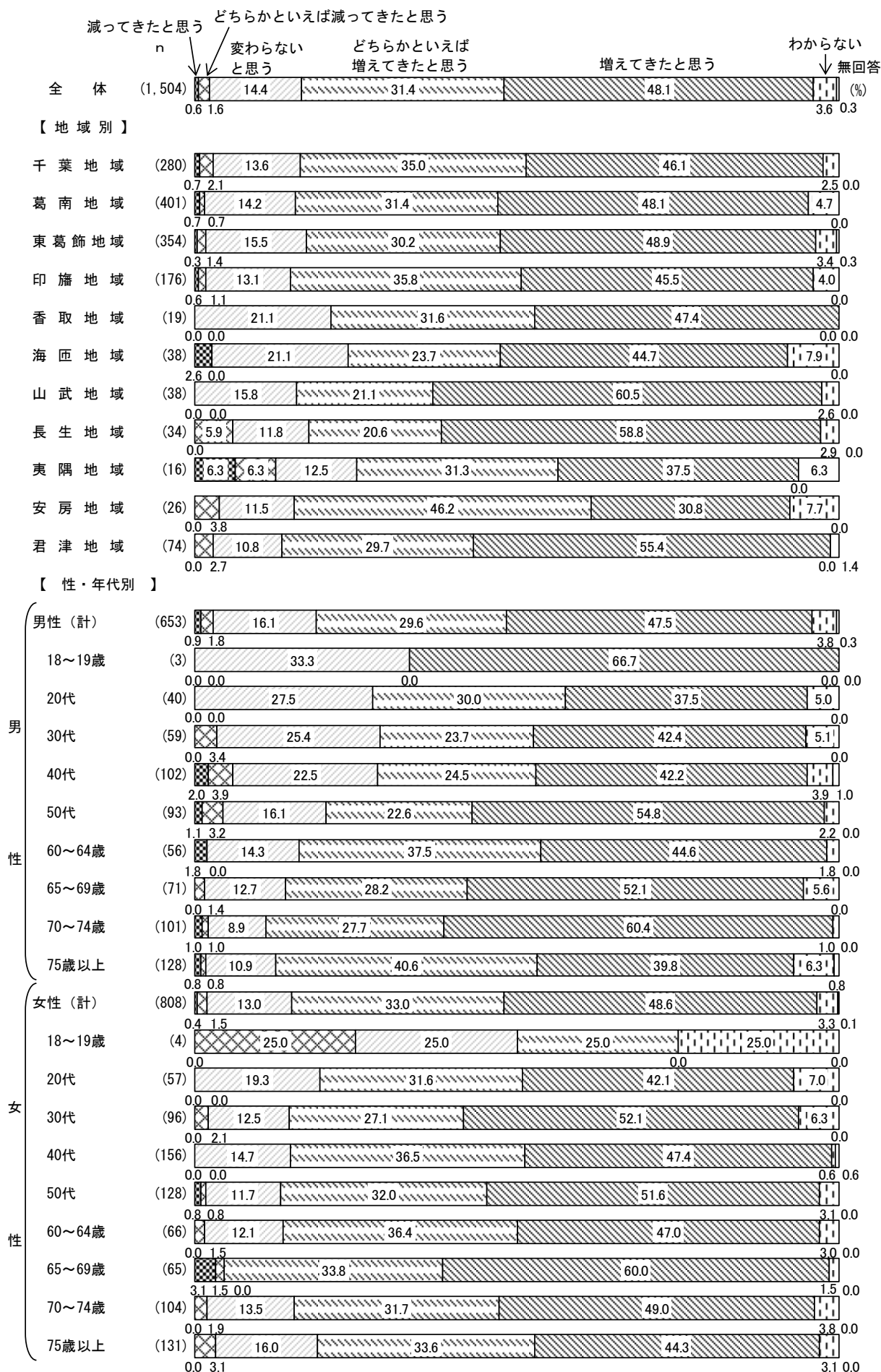
地域別で大きな傾向の違いはみられない。（図表 3－6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『増えてきた（計）』は、女性65～69歳（93.8%）が９割台半ば、男性70～74歳（88.1%）が約９割で高くなっている。

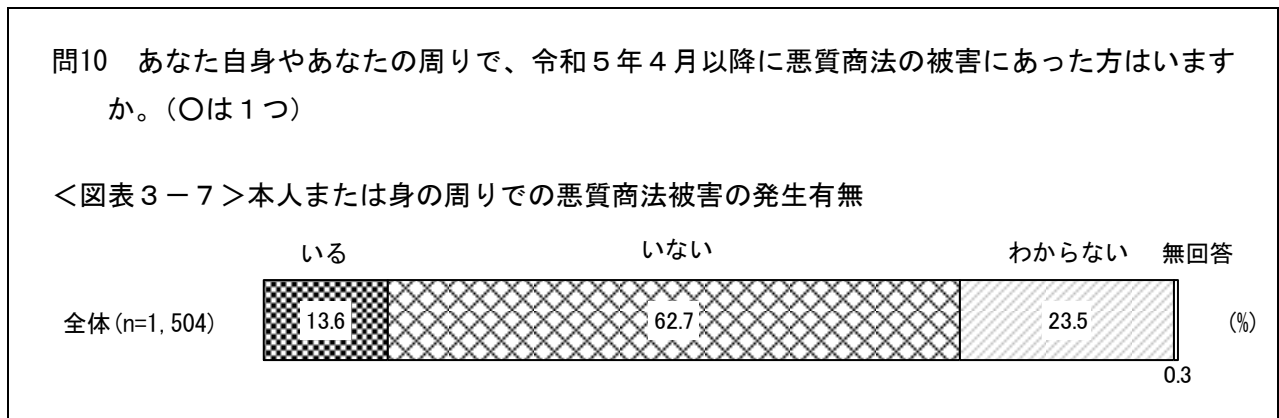
「変わらないと思う」は、男性20代（27.5%）が約３割、男性30代（25.4%）が２割台半ば、男性40代（22.5%）が２割を超えて高くなっている。（図表 3－6）

＜図表 3－6＞悪質商法に対する考え／地域別、性・年代別



（４）本人または身の周りでの悪質商法被害の発生有無

◇「いる」は１割台半ば



本人または身の周りでの悪質商法被害の発生の有無を聞いたところ、「いる」（13.6％）は１割台半ばとなっている。

一方、「いない」（62.7％）は６割を超えている。（図表３－７）

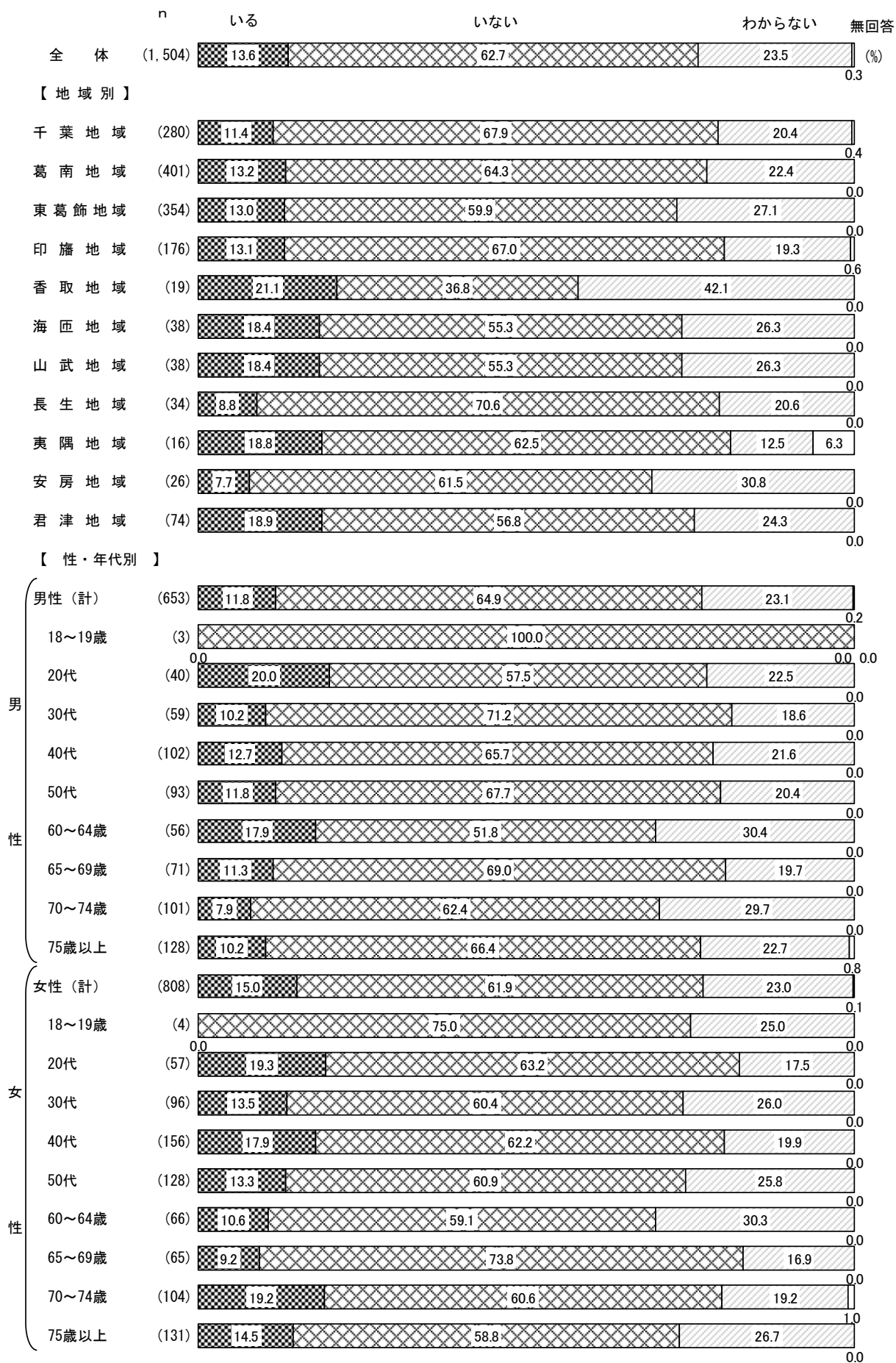
【地域別】

地域別にみると、「いない」は“千葉地域”（67.9％）が約７割で高くなっている。（図表３－８）

【性・年代別】

性・年代別で大きな傾向の違いはみられない。（図表３－８）

＜図表 3－8＞本人または身の周りでの悪質商法被害の発生有無／地域別、性・年代別



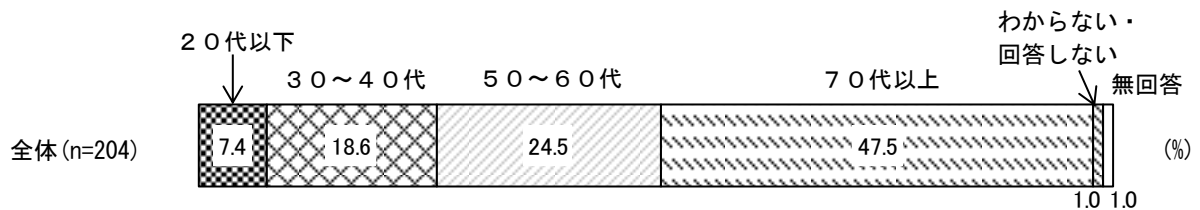
（４－１）被害にあった方の年代

◇「70代以上」が約5割

（問10で「いる」とお答えの方に）

問10－1 被害にあった方の年代を次の中から選んでください。被害にあった方が複数いる場合は、直近の被害状況についてお答えください。（○は1つ）

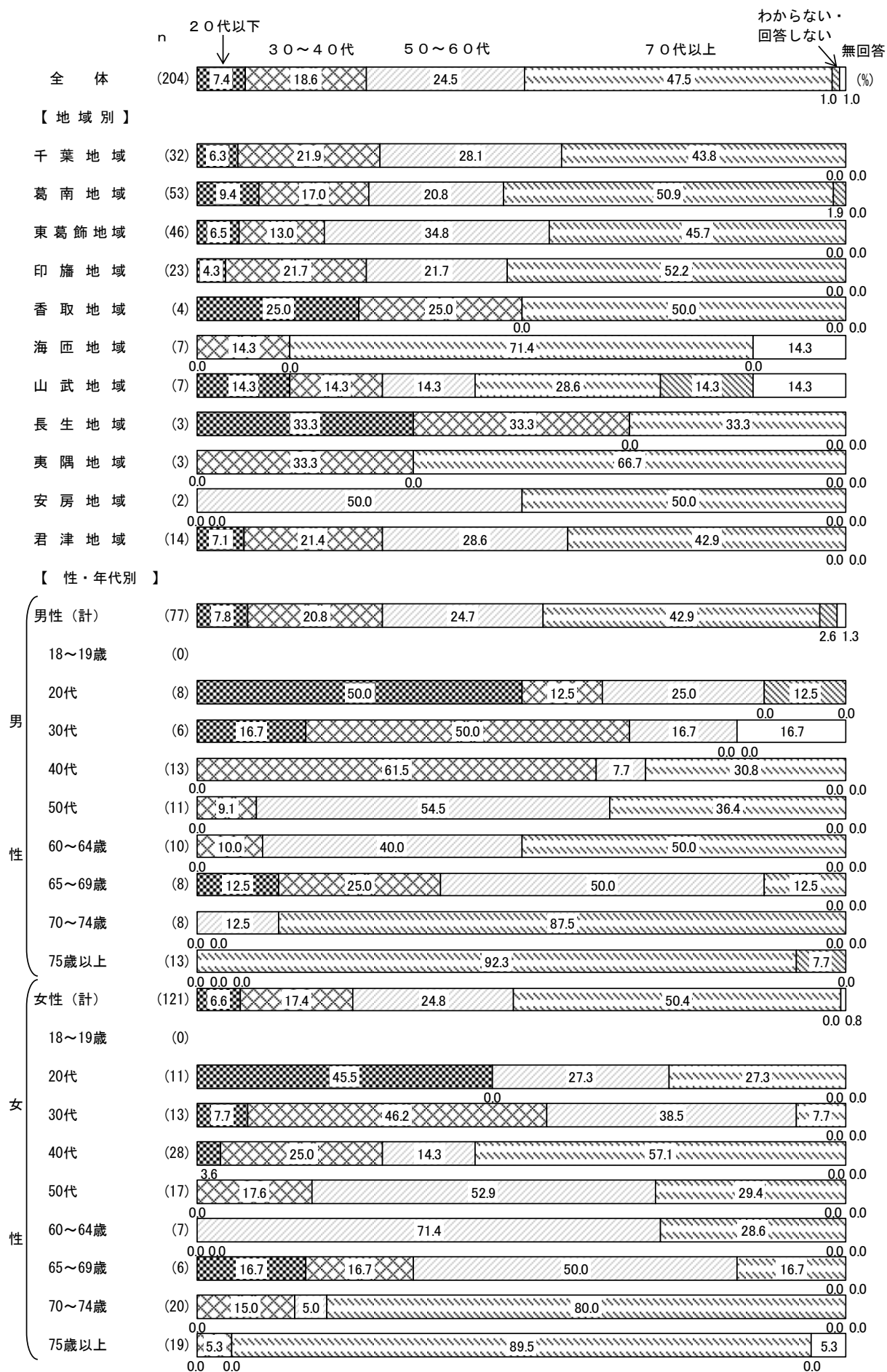
＜図表 3－9＞被害にあった方の年代



被害にあった方の年代について聞いたところ、「70代以上」（47.5%）が約5割で最も高く、以下、「50～60代」（24.5%）、「30～40代」（18.6%）と続く。（図表 3－9）

※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。
（9 ページ「報告書の見方（5）」を参照）（図表 3－10）

[参考] <図表 3-10>被害にあった方の年代／地域別、性・年代別



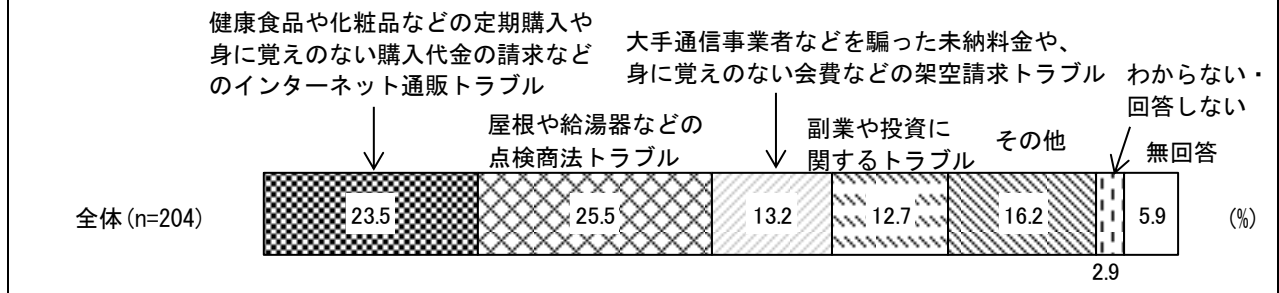
（４－２）被害の内容

◇「屋根や給湯器などの点検商法トラブル」が２割台半ば

（引き続き、問10で「いる」とお答えの方に）

問10－２ どのような被害にあわれましたか。（○は１つ）

＜図表３－11＞被害の内容



被害の内容を聞いたところ、「屋根や給湯器などの点検商法トラブル」（25.5%）が２割台半ばで最も高く、以下、「健康食品や化粧品などの定期購入や身に覚えのない購入代金の請求などのインターネット通販トラブル」（23.5%）、「大手通信事業者などを騙った未納料金や、身に覚えのない会費などの架空請求トラブル」（13.2%）、「副業や投資に関するトラブル」（12.7%）が続く。

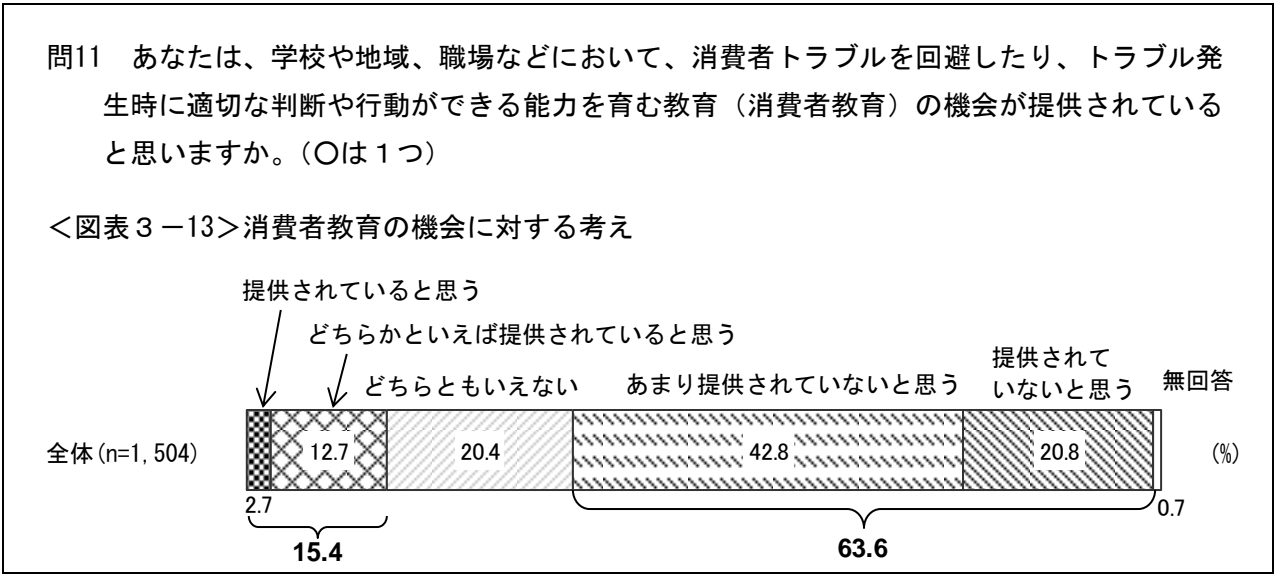
（図表３－11）

※サンプル数が少ないため、【地域別】及び【性・年代別】における属性の分析は触れていない。

（9 ページ「報告書の見方（５）」を参照）（図表３－12）

（５）消費者教育の機会に対する考え

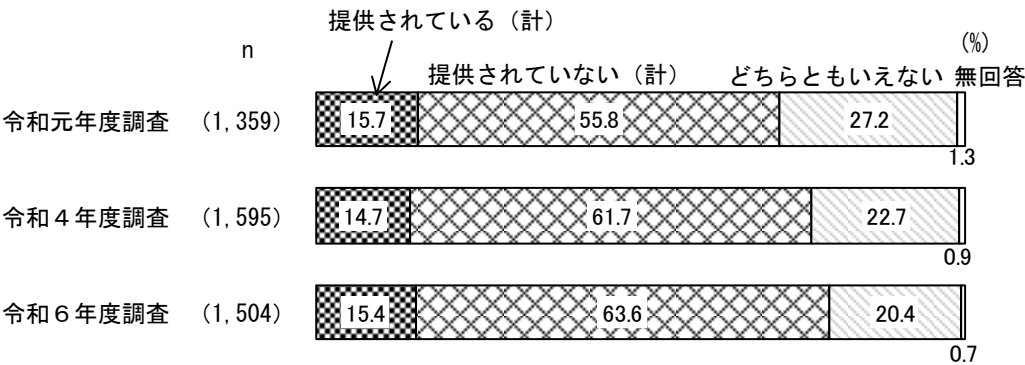
◇『提供されている（計）』が１割台半ば



学校や地域、職場などで消費者教育の機会が提供されていると思うか聞いたところ、「提供されていると思う」（2.7％）と「どちらかといえば提供されていると思う」（12.7％）を合わせた『提供されている（計）』（15.4％）が１割台半ばとなっている。

一方、「あまり提供されていないと思う」（42.8％）と「提供されていないと思う」（20.8％）を合わせた『提供されていない（計）』（63.6％）が６割台半ばとなっている。（図表 3－13）

〔参考〕令和元年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、『提供されている（計）』は“海匠地域”（31.6％）が３割を超えて高くなっている。（図表 3－14）

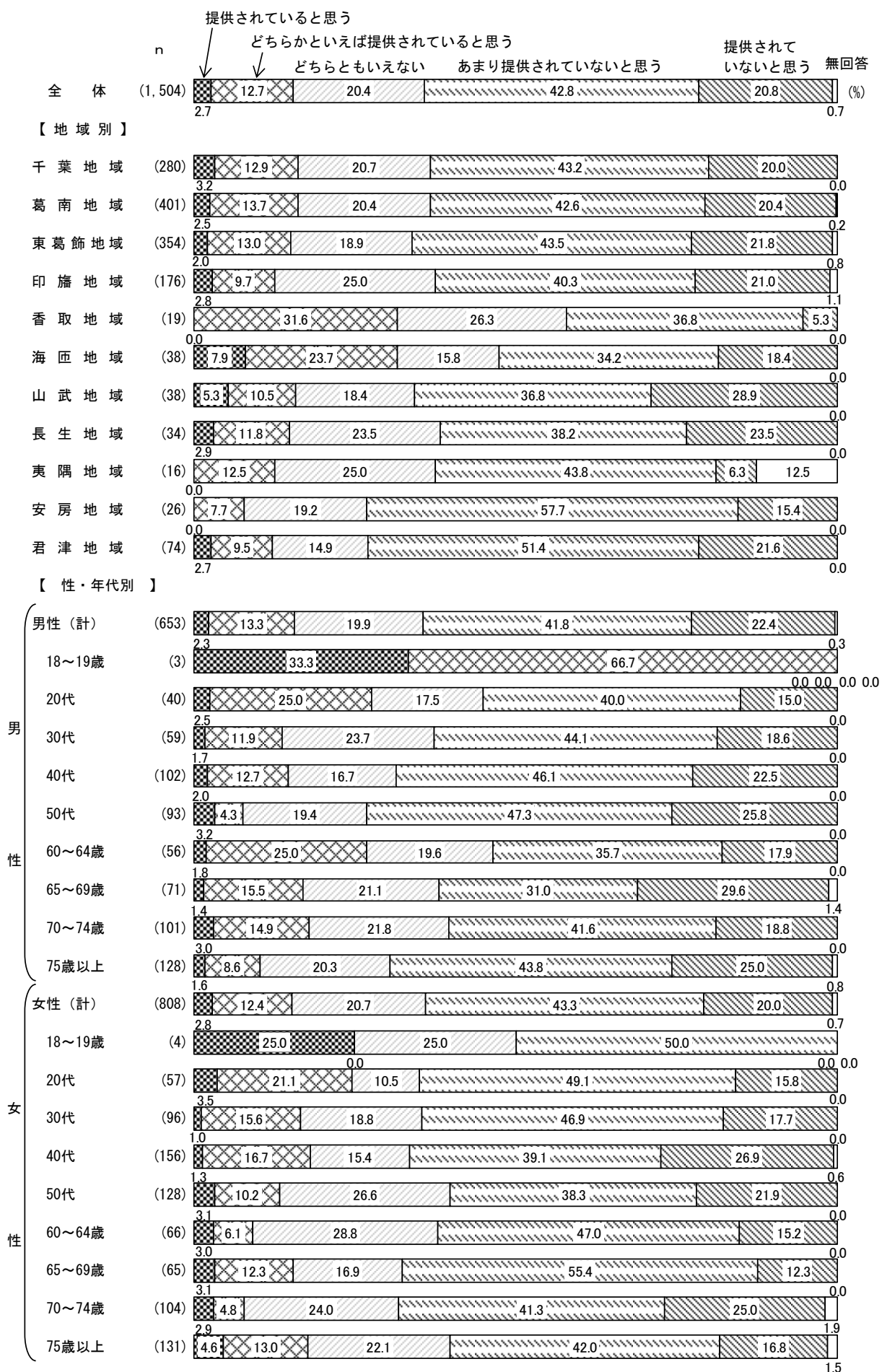
【性・年代別】

性・年代別にみると、『提供されている（計）』は、男性20代（27.5％）が約３割、男性60～64歳（26.8％）、女性20代（24.6％）が２割台半ばで高くなっている。

一方、『提供されていない（計）』は、男性50代（73.1％）が７割を超えて高くなっている。

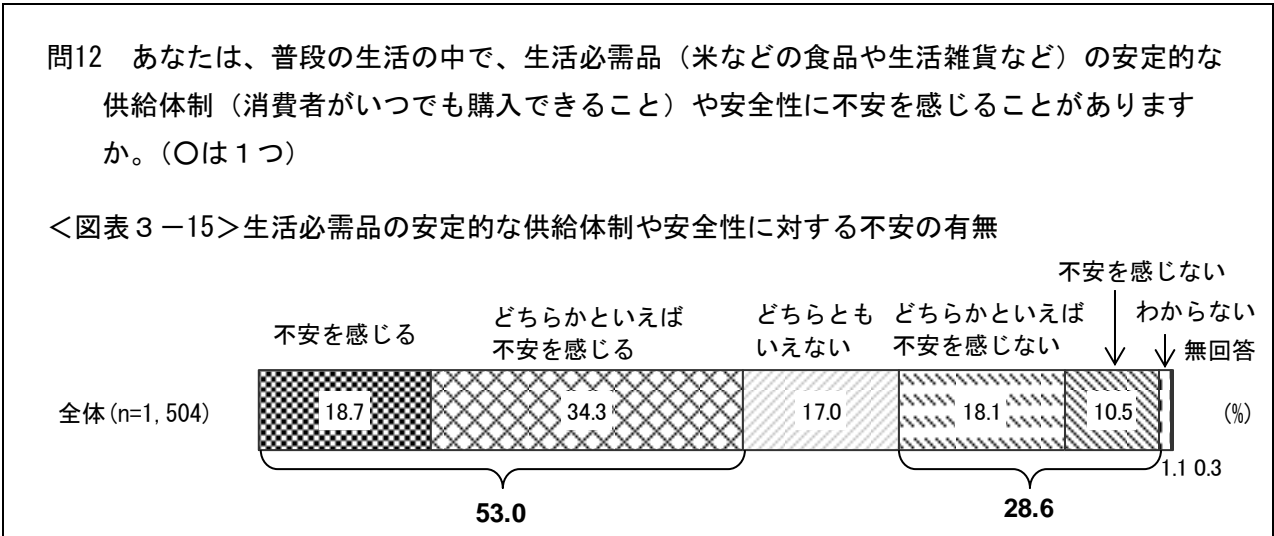
（図表 3－14）

＜図表 3－14＞消費者教育の機会に対する考え／地域別、性・年代別



（6）生活必需品の安定的な供給体制や安全性に対する不安の有無

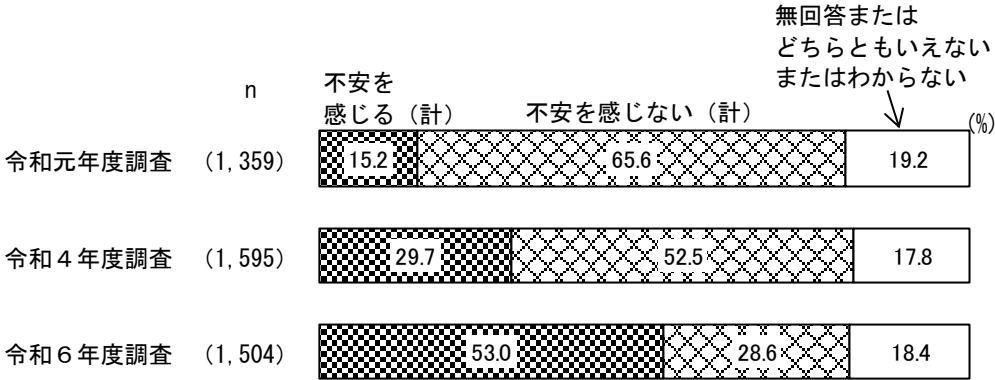
◇『不安を感じる（計）』が5割を超える



普段の生活の中で、生活必需品の安定的な供給体制や安全性に不安を感じることがあるか聞いたところ、「不安を感じる」（18.7％）と「どちらかといえば不安を感じる」（34.3％）を合わせた『不安を感じる（計）』（53.0％）は5割を超えている。

一方、「どちらかといえば不安を感じない」（18.1％）と「不安を感じない」（10.5％）を合わせた『不安を感じない（計）』（28.6％）が約3割となっている。（図表 3－15）

〔参考〕令和元年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



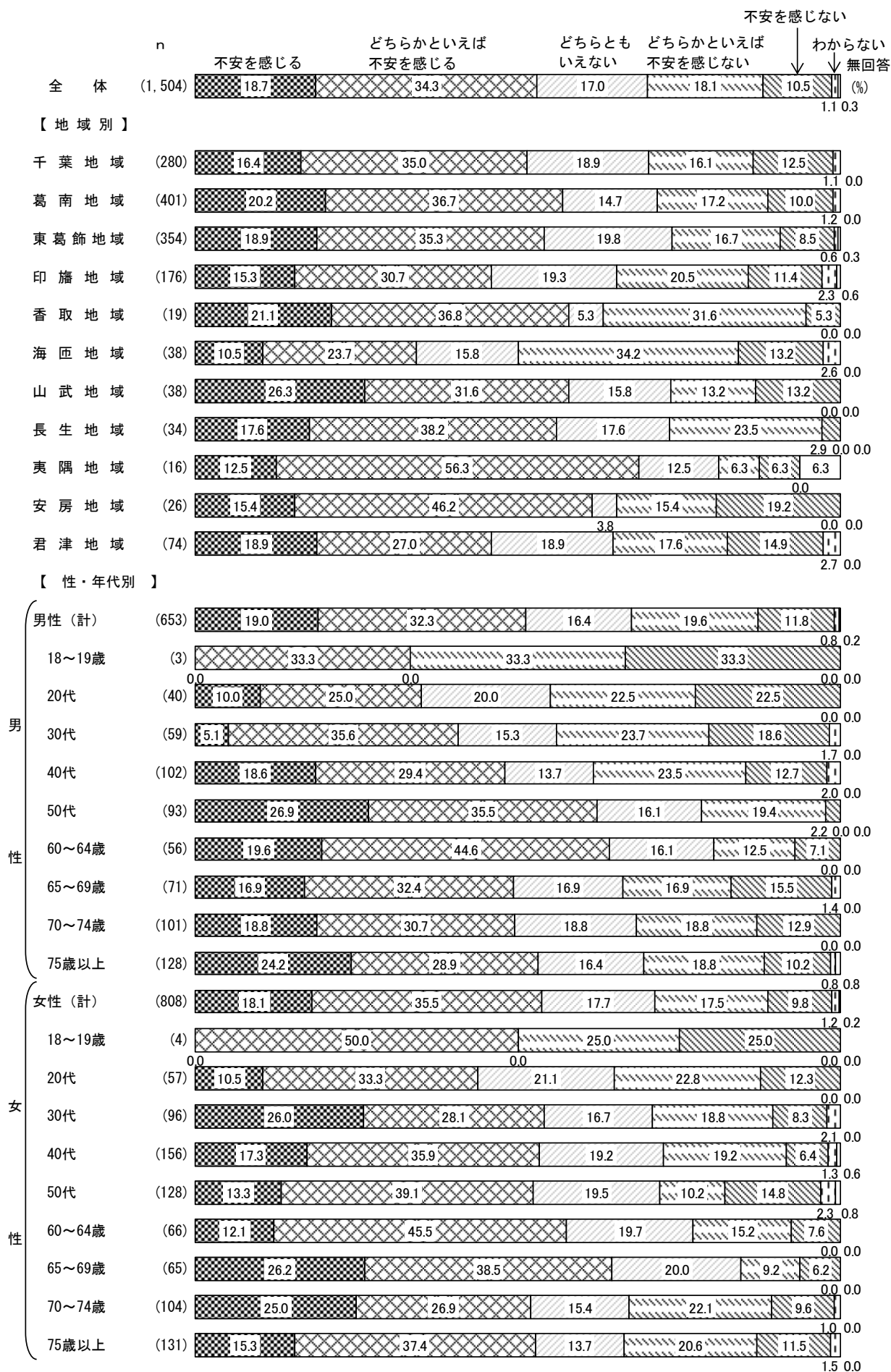
【地域別】

地域別にみると、『不安を感じない（計）』は“海匠地域”（47.4％）が約5割で高くなっている。（図表 3－16）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『不安を感じない（計）』は、男性20代（45.0％）が4割台半ば、男性30代（42.4％）が4割を超えて高くなっている。（図表 3－16）

＜図表 3－16＞生活必需品の安定的な供給体制や安全性に対する不安の有無／地域別、性・年代別



（７）買い物をする際の「エシカル消費」の意識の有無

◇『意識している（計）』が４割台半ば

人や社会、環境、地域に配慮した商品を選んで消費をすることを「エシカル消費」といいます。

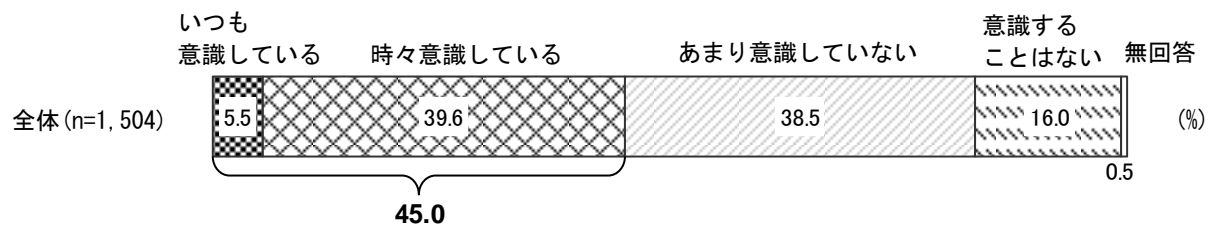
（「エシカル消費」の具体例）

- ・ 障害のある人の支援につながる商品を選んで買い物をする
- ・ フェアトレード商品（開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指し、適正な価格で取引された商品）を選んで買い物をする
- ・ エコ商品（一般的に環境に配慮した商品）を選んで買い物をする
- ・ 被災地産品を選んで買い物をする

問13 あなたは、買い物をする際に、上記の説明にある「エシカル消費」を意識していますか。

（○は１つ）

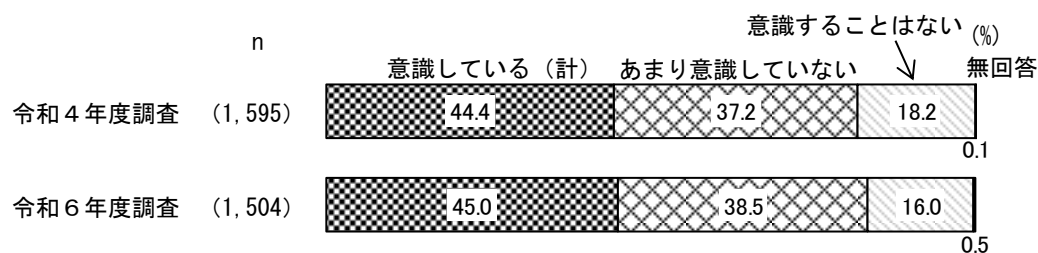
＜図表３－17＞買い物をする際の「エシカル消費」の意識の有無



買い物をする際に、「エシカル消費」を意識するかを聞いたところ、「いつも意識している」（5.5％）と「時々意識している」（39.6％）を合わせた『意識している（計）』（45.0％）が４割台半ばとなっている。

一方、「あまり意識していない」（38.5％）は約４割、「意識することはない」（16.0％）は１割台半ばとなっている。（図表３－17）

〔参考〕令和４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

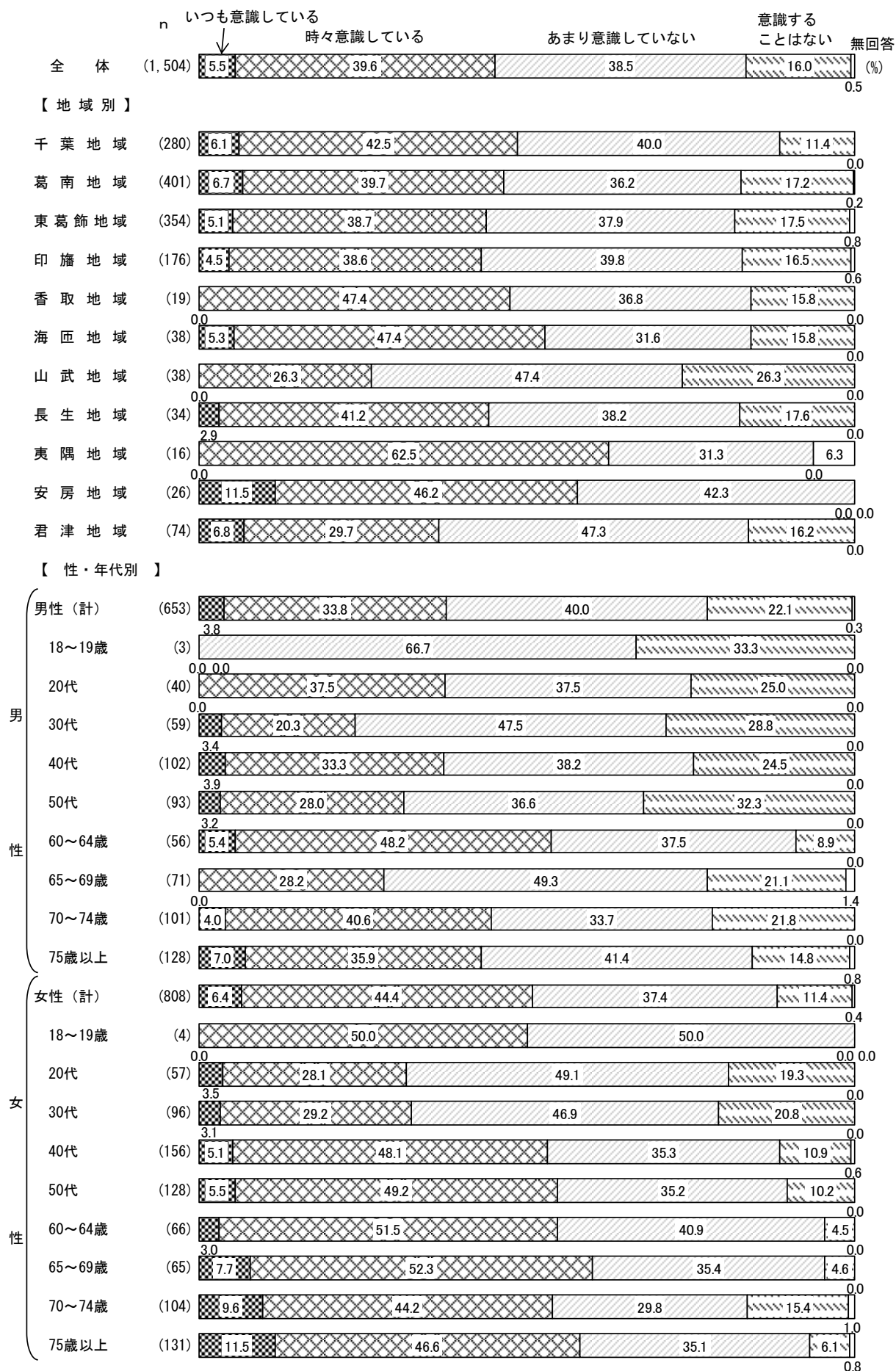
地域別で大きな傾向の違いはみられない。（図表３－18）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『意識している（計）』は女性65～69歳（60.0％）が６割、女性75歳以上（58.0％）が約６割、女性50代（54.7％）が５割台半ば、女性40代（53.2％）が５割を超えて高くなっている。

（図表３－18）

＜図表 3－18＞買い物をする際の「エシカル消費」の意識の有無／地域別、性・年代別



このほかにも、「消費生活について」や問7～問13について、ご意見やご提案があれば自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、174人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「消費生活について」の自由回答（抜粋）

○中学や高等学校で、消費者トラブルの教育も必要だと思います。闇バイトと知らずに普通のバイトと思い参加してしまうことがメディアで取り上げられているので。また、高齢者の特殊詐欺は地域で取り組む必要があるのと、金融機関の方や宅配業者の方の声かけで防ぐことができると思いますのでその方々の協力も不可欠だと思います。（女性、50代、東葛飾地域）

○消費者トラブルは、巧妙な手口も多くなっているようで、常に最新情報を提供し、住民に共有・周知できる仕組みづくりが大切だと思います。いざ、自分の身近で何か起きないと、他人事と思い、意識が低いかと思うので、繰り返し根気強く周知が必要だと思います。（女性、30代、東葛飾地域）

○消費者トラブルにあうと、泣き寝入りするしかないというイメージがある。被害回復にもう一歩踏み込んだ施策が必要だと思います。（女性、40代、千葉地域）

○トラブル回避についての勉強会を地元自治体が複数回開催して欲しい（参加しやすく）。点検商法について、発生もしくは出会った際の通報先を明らかにし、住民に速やかに周知の徹底を図って欲しい。（男性、70～74歳、安房地域）

○トラブルがあった際にもっと気軽に警察に相談できる環境であって欲しい。（女性、30代、葛南地域）

○悪質事業者を排除する法や条例の整備や違反した場合の罰則の強化が必要だと思います。（女性、70～74歳、香取地域）

○インターネットでのトラブルが激増していると思う。巧妙でわかりにくくなっており、自分自身も通販トラブルにあった。トラブルを防ぐ教育や情報が追いついていない中、学校での教育を強化してほしい。（男性、30代、海匝地域）

○エシカル消費については、もっと売場や商品に、消費者にわかるような工夫があれば選ぶことができる機会が増えると考えます（女性、65～69歳、千葉地域）

○エコ商品、被災地産品は、一般スーパーにおいて表記があるため分かりやすいと思うが、障害者支援に繋がる商品やフェアトレード商品は、一般スーパーで買い物をする上で、置いてあるかどうか、分かりにくい。（女性、30代、葛南地域）

○フェアトレード商品やエコ商品等をいつも選びたいと思うが、経済的にきびしい。（男性、75歳以上、東葛飾地域）